資料６

平成２９年の自殺の概要（警察庁自殺統計確定版）

１　自殺者数の状況と推移（「人口動態調査」及び「自殺統計」）

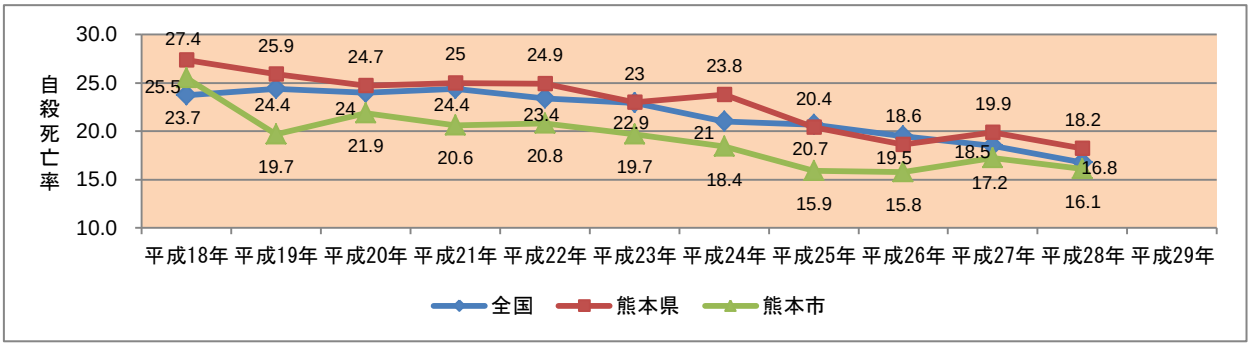
● 熊本市の自殺者数は、人口動態調査では***人、自殺統計では 96 人となっており、前年（平成 28 年）と比べるとそれぞれ**人、23 人の**減少**となった。

● 熊本市の自殺死亡率は、人口動態調査では****、自殺統計では 13.1 となっており、それぞれ前年より***ポイント、3.1 ポイントの**減少**となった。

(1)　「人口動態調査」（厚生労働省）による状況

		平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
全 国	自殺者数	29,921	30,827	30,229	30,707	29,554	28,896	26,433	26,063	24,417	23,152	21,017	
	自殺死亡率	23.7	24.4	24.0	24.4	23.4	22.9	21.0	20.7	19.5	18.5	16.8	未確定
熊本県	自殺者数	501	472	448	452	451	416	428	365	332	353	321	
	自殺死亡率	27.4	25.9	24.7	25.0	24.9	23.0	23.8	20.4	18.6	19.9	18.2	
熊本市	自殺者数	171	132	147	140	153	145	136	118	117	127	119	
	自殺死亡率	25.5	19.7	21.9	20.6	20.8	19.7	18.4	15.9	15.8	17.2	16.1	

グラフ１【人口動態調査による自殺死亡率の年次推移】

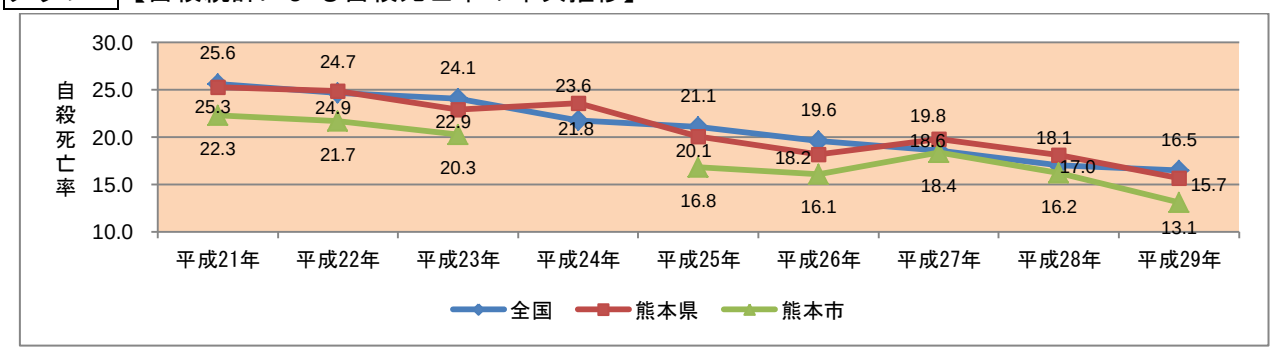


(2)　「自殺統計」（警察庁）による状況

		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
全 国	自殺者数	32,485	31,334	30,370	27,589	27,041	25,218	23,806	21,703	21,127
	自殺死亡率	25.6	24.7	24.1	21.8	21.1	19.6	18.6	17.0	16.5
熊本県	自殺者数	466	456	418	430	367	333	360	327	283
	自殺死亡率	25.3	24.9	22.9	23.6	20.1	18.2	19.8	18.1	15.7
熊本市	自殺者数	150	157	147	138	123	118	135	119	96
	自殺死亡率	22.3	21.7	20.3	－	16.8	16.1	18.4	16.2	13.1

※自殺日、住居地によるデータ

グラフ２【自殺統計による自殺死亡率の年次推移】



【参考】熊本市の自殺対策に係る目標値（案）

「熊本市自殺総合対策計画（仮称）」において次の目標（案）を掲げている。

指　　標	現状（基準値） 平成 27 年	目標値
● 2026（平成 38）年までに、自殺死亡率を 2015（平成 27）年と比べて 30%以上減少させる。 ● 2022（平成 34）年における自殺死亡率を 13.9 以下とする。	17.2	（H38）12.0 （H34）13.9

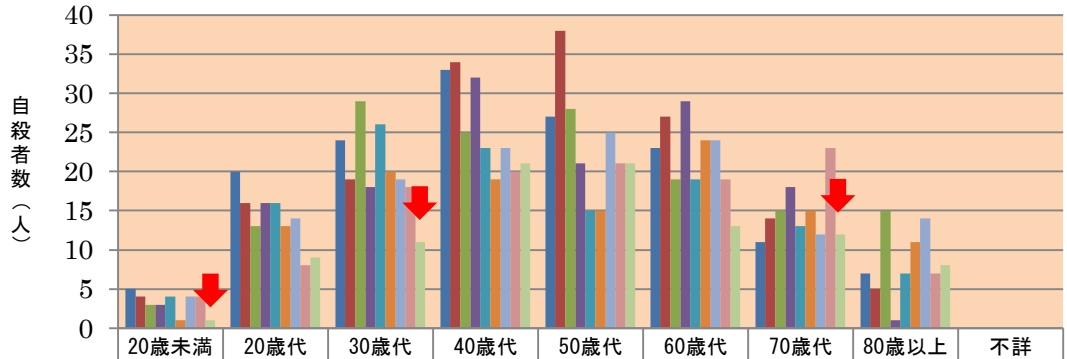
※現状（基準値）と目標値は「人口動態調査」に基づくもの。
※目標値は自殺総合対策大綱における目標（平成 27 年と比べて 30%以上減少させる。）を参考。

２　年齢別・男女別の状況（警察庁自殺統計）

(1)　年齢別の推移

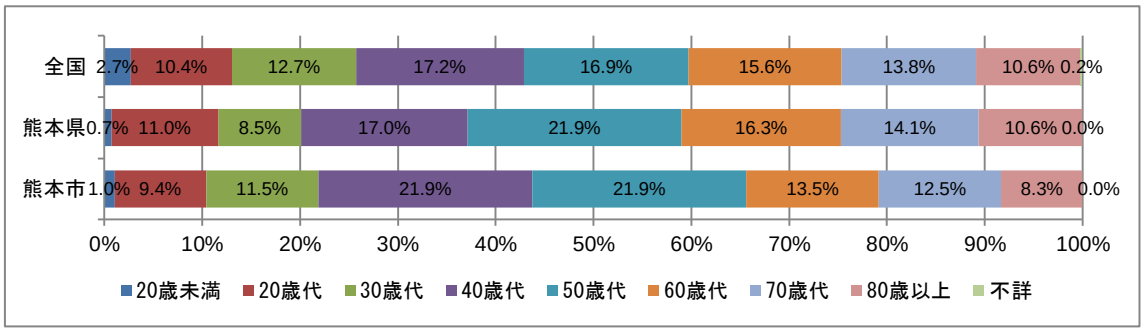
年齢別では、20 歳代、40 歳代及び 80 歳以上の年代でそれぞれ 1 人ずつ前年を上回った以外は、いずれの年代においても前年と同数か下回っていた。主なところでは、20 歳未満が、前年比▲3 人（▲75.0%）、30 歳代が、前年比▲7 人（▲38.9%）、70 歳代が、前年比▲11 人（▲47.8%）であった。

グラフ３【年齢階層別自殺者数の年次推移】



	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不詳
平成21年	5	20	24	33	27	23	11	7	0
平成22年	4	16	19	34	38	27	14	5	0
平成23年	3	13	29	25	28	19	15	15	0
平成24年	3	16	18	32	21	29	18	1	0
平成25年	4	16	26	23	15	19	13	7	0
平成26年	1	13	20	19	15	24	15	11	0
平成27年	4	14	19	23	25	24	12	14	0
平成28年	4	8	18	20	21	19	23	7	0
平成29年	1	9	11	21	21	13	12	8	0

グラフ４【年齢階層別構成割合の比較（平成 29 年）】

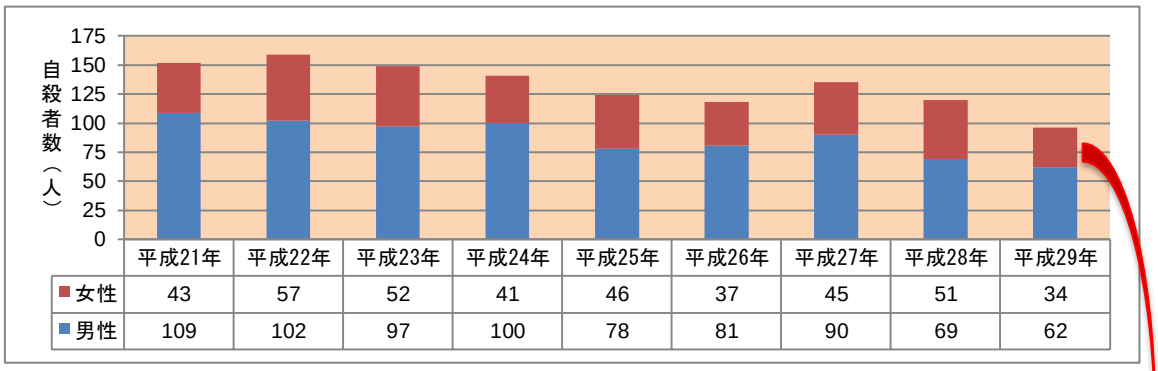


(2)　男女別の推移

男女別では、男性の自殺者数が前年に比べ▲7 人（▲10.1%）、女性の自殺者数は前年から▲17 人（▲33.3%）であった。

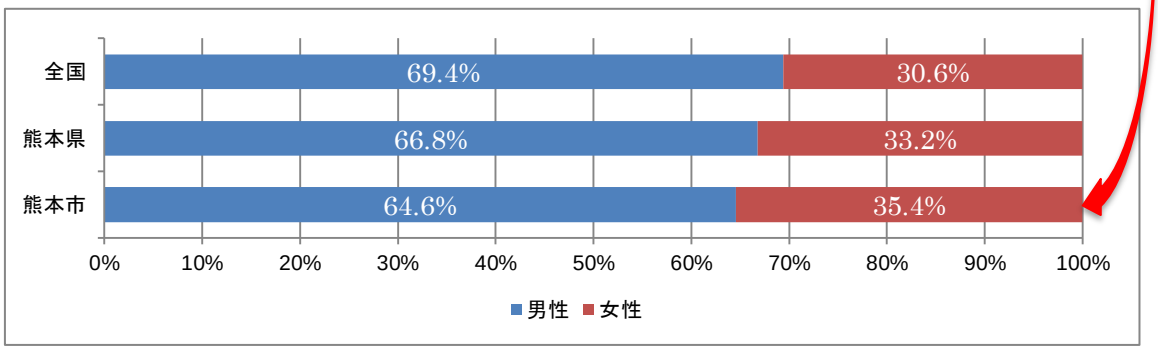
男女比は、例年、男性の割合が概ね 6 割から 7 割を占め、女性より多い割合となっており、昨年もこの割合に大きな変化は見られなかった。前年の平成 28 年は女性の割合が約 43%と近年では最も高い割合であったが、平成 29 年は約 35%に減少した。それでも、全国や熊本県と比べると女性の割合がやや高い傾向がある。

グラフ５【男女別自殺者数の年次推移】



	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
女性	43	57	52	41	46	37	45	51	34
男性	109	102	97	100	78	81	90	69	62

グラフ６【男女別構成割合の比較）（平成 29 年）】



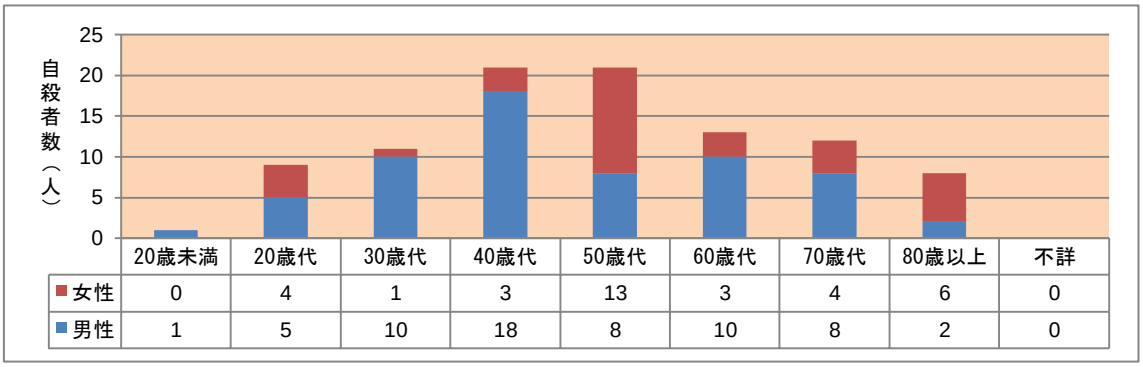
(3)　年齢別で見た男女別自殺者数

男女別の自殺者数を年齢別で見ると、男性では、20 歳代、40 歳代及び 60 歳代で前年より増加が見られ、その他の年代（20 歳未満、30 歳代、50 歳代、70 歳代、80 歳以上）ではいずれも**減少**している。

一方、女性では 50 歳代及び 80 歳以上で**増加**が見られ、それ以外の年代では前年より**減少**している。特に、60 歳代及び 70 歳代はそれぞれ前年より 7 人及び 6 人減と大幅な**減少**であった。

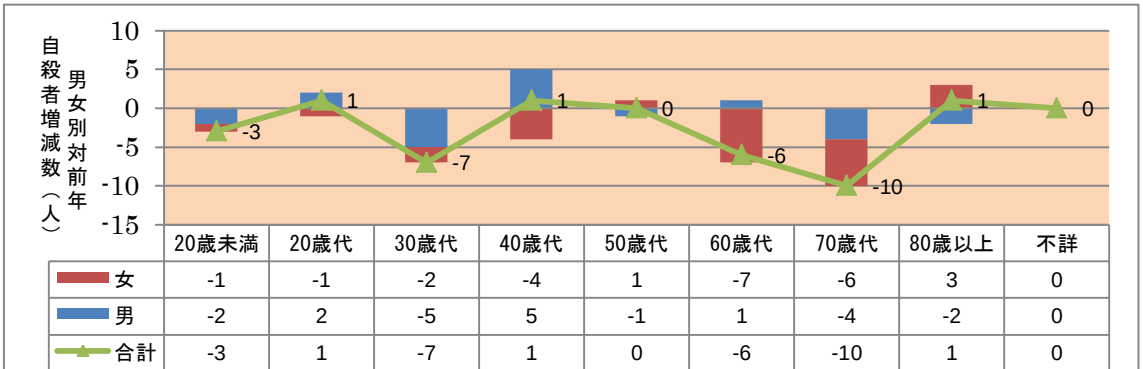
なお、50 歳代及び 80 歳以上において、女性の自殺者数が男性の数を上回っている。

グラフ７【年齢階層別男女別自殺者数（平成 29 年）】



	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不詳
女性	0	4	1	3	13	3	4	6	0
男性	1	5	10	18	8	10	8	2	0

グラフ８【年齢階層別男女別対前年増減数】



	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不詳
女	-1	-1	-2	-4	1	-7	-6	3	0
男	-2	2	-5	5	-1	1	-4	-2	0
合計	-3	1	-7	1	0	-6	-10	1	0

３　職業別の状況（警察庁自殺統計）

●　職業別では、最も多い「無職者」57人（59.4%）と、続く「被雇用・勤め人」28人（29.2%）で全体の８割強を占めている。

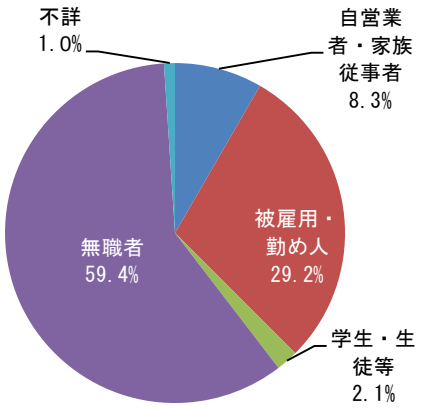
●　「不詳」を除き、全ての職業で前年を下回った。

●　「被雇用・勤め人」は前年より▲1人（▲3.4%）であった。

●　「学生・生徒等」については、前年より▲5人（▲71.4%）と大きく減少した。

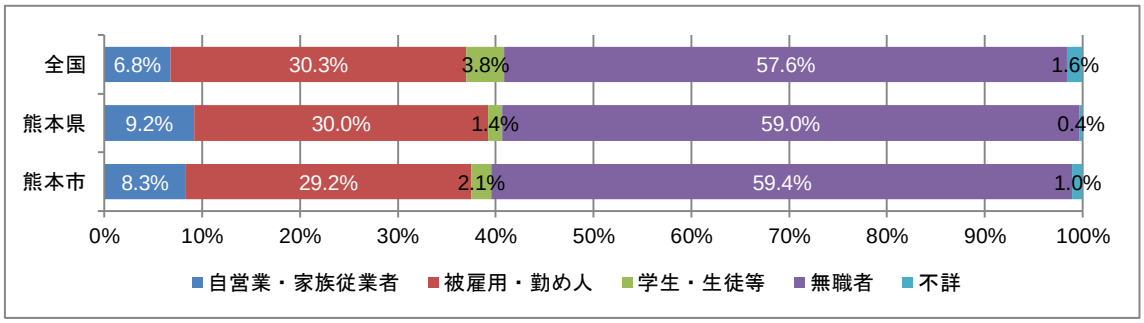
●　「無職者」は、前年より▲17人（▲23.0%）であった。

グラフ９【職業別自殺者数の割合（平成29年）】



年	区分	自営業・家族従業者	被雇用・勤め人	学生・生徒等	無職者	不詳	計
平成21年	自殺者数（人）	13	49	10	76	2	150
	構成割合（%）	8.7%	32.7%	6.7%	50.7%	1.3%	100.0%
平成22年	自殺者数（人）	15	50	7	84	1	157
	構成割合（%）	9.6%	31.8%	4.5%	53.5%	0.6%	100.0%
平成23年	自殺者数（人）	12	43	4	87	1	147
	構成割合（%）	8.2%	29.3%	2.7%	59.2%	0.7%	100.1%
平成24年	自殺者数（人）	18	43	5	72	0	138
	構成割合（%）	13.0%	31.2%	3.6%	52.2%	0.0%	100.0%
平成25年	自殺者数（人）	7	28	5	82	1	123
	構成割合（%）	5.7%	22.8%	4.1%	66.7%	0.8%	100.0%
平成26年	自殺者数（人）	8	34	2	73	1	118
	構成割合（%）	6.8%	28.8%	1.7%	61.9%	0.8%	100.0%
平成27年	自殺者数（人）	7	39	8	79	2	135
	構成割合（%）	5.2%	28.9%	5.9%	58.5%	1.5%	100.0%
平成28年	自殺者数（人）	9	29	7	74	0	119
	構成割合（%）	7.6%	24.4%	5.9%	62.2%	0.0%	100.0%
平成29年	自殺者数（人）	8	28	2	57	1	96
	構成割合（%）	8.3%	29.2%	2.1%	59.4%	1.0%	100.0%

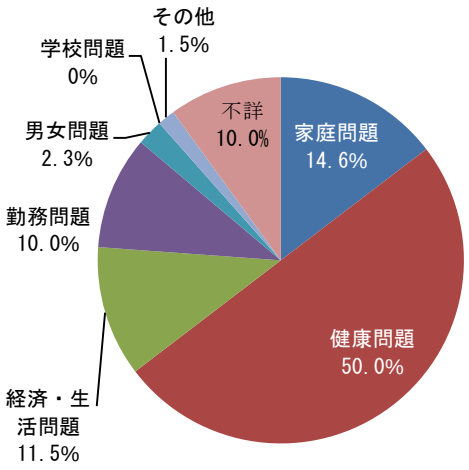
グラフ１０【職業別構成割合の比較（平成29年）】



4　原因別の状況（警察庁自殺統計）

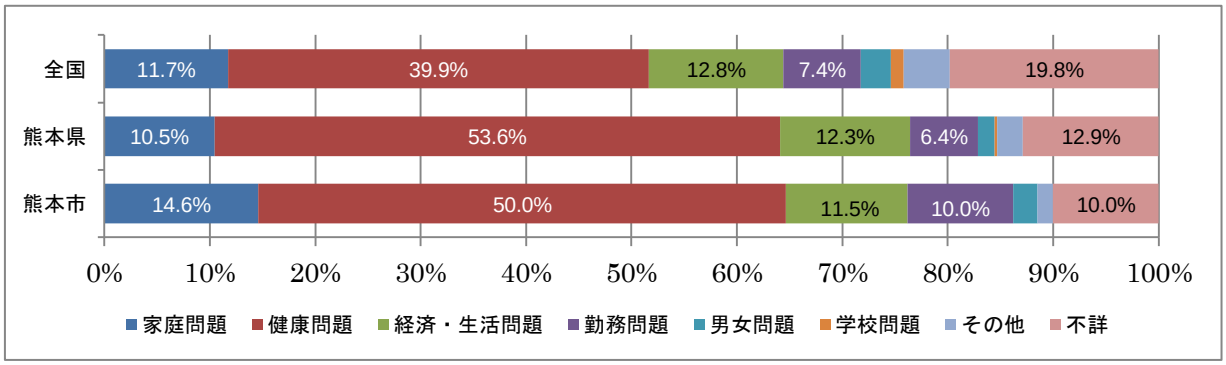
- 原因別で見ると、「健康問題」が 65 人（50.0%）と最も高く、全体の 5 割を占めているが、前年の 90 人から 25 人（27.8%）**減少**している。
- 次いで「家庭問題」19 人（14.6%）「経済・生活問題」15 人（11.5%）となっている。
- 「勤務問題」は、前年の 6 人から 7 人**増加**し 13 人（10.0%）となり、一昨年と同程度となった。
- 「学校問題」は、3 年ぶりに 0 人であった。

グラフ１１【原因別自殺者数の割合（平成 29 年）】



		家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	男女問題	学校問題	その他	不詳	計
平成21年	自殺者数(人)	17	64	31	17	6	1	8	49	193
	構成割合(%)	8.8%	33.2%	16.1%	8.8%	3.1%	0.5%	4.1%	25.4%	100%
平成22年	自殺者数(人)	18	77	34	16	3	4	6	43	201
	構成割合(%)	9.0%	38.3%	16.9%	8.0%	1.5%	2.0%	3.0%	21.4%	100%
平成23年	自殺者数(人)	23	85	21	16	8	2	14	30	199
	構成割合(%)	11.6%	42.7%	10.6%	8.0%	4.0%	1.0%	7.0%	29.0%	114%
平成24年	自殺者数(人)	20	91	18	13	8	1	4	29	184
	構成割合(%)	10.9%	49.5%	9.8%	7.1%	4.3%	0.5%	2.2%	15.8%	100%
平成25年	自殺者数(人)	20	91	20	4	11	2	10	17	175
	構成割合(%)	11.4%	52.0%	11.4%	2.3%	6.3%	1.1%	5.7%	9.7%	100%
平成26年	自殺者数(人)	14	76	21	14	0	0	9	26	160
	構成割合(%)	8.8%	47.5%	13.1%	8.8%	0.0%	0.0%	5.6%	16.3%	100%
平成27年	自殺者数(人)	24	75	18	12	6	4	4	33	176
	構成割合(%)	13.6%	42.6%	10.2%	6.8%	3.4%	2.3%	2.3%	18.8%	100%
平成28年	自殺者数(人)	20	90	9	6	4	2	2	21	154
	構成割合(%)	13.0%	58.4%	5.8%	3.9%	2.6%	1.3%	1.3%	13.6%	100%
平成29年	自殺者数(人)	19	65	15	13	3	0	2	13	130
	構成割合(%)	14.6%	50.0%	11.5%	10.0%	2.3%	0.0%	1.5%	10.0%	100%

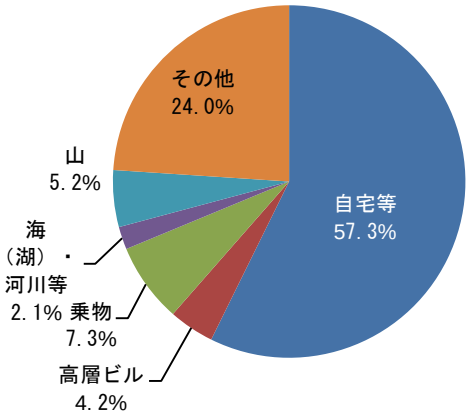
グラフ１２【原因別構成割合の比較（平成 29 年）】



５　場所別の状況（警察庁自殺統計）

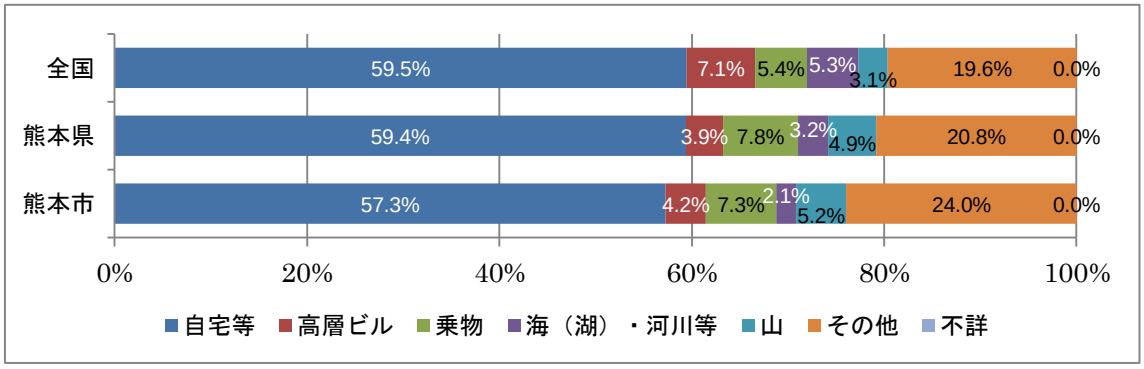
- 場所別では、「自宅等」が 55 人（57.3%）と最も多かったが、前年よりも 5 人（8.3%）の**減少**であった。
- 次いで「その他」23 人（24.0%）、「乗物」7 人（7.3%）の順となっている。
- 「高層ビル」は 4 人（4.2%）で、昨年よりも▲13 人（▲76.5%）と大きく**減少**した。

グラフ１３【場所別自殺者数の割合（平成 29 年）】



		自宅等	高層ビル	乗物	海(湖)・河川等	山	その他	不詳	計
平成21年	自殺者数(人)	74	10	26	6	7	27	0	150
	構成割合(%)	49.3%	6.6%	17.3%	4.0%	4.6%	18.0%	0.0%	99.8%
平成22年	自殺者数(人)	102	10	13	8	3	21	0	157
	構成割合(%)	65.0%	6.4%	8.3%	5.1%	1.9%	13.4%	0.0%	100.0%
平成23年	自殺者数(人)	78	7	19	4	7	32	0	147
	構成割合(%)	53.1%	4.8%	12.9%	2.7%	4.8%	21.8%	0.0%	100.0%
平成24年	自殺者数(人)	86	3	12	7	5	25	0	138
	構成割合(%)	62.3%	2.2%	8.7%	5.1%	3.6%	18.1%	0.0%	100.0%
平成25年	自殺者数(人)	71	10	14	4	3	21	0	123
	構成割合(%)	57.7%	8.1%	11.4%	3.3%	2.4%	17.1%	0.0%	100.0%
平成26年	自殺者数(人)	70	6	12	6	4	20	0	118
	構成割合(%)	59.3%	5.1%	10.2%	5.1%	3.4%	16.9%	0.0%	100.0%
平成27年	自殺者数(人)	88	17	7	6	5	12		135
	構成割合(%)	65.2%	12.6%	5.2%	4.4%	3.7%	8.9%	0.0%	100.0%
平成28年	自殺者数(人)	60	17	10	10	2	20	0	119
	構成割合(%)	50.4%	14.3%	8.4%	8.4%	1.7%	16.8%	0.0%	100.0%
平成29年	自殺者数(人)	55	4	7	2	5	23	0	96
	構成割合(%)	57.3%	4.2%	7.3%	2.1%	5.2%	24.0%	0.0%	100.0%

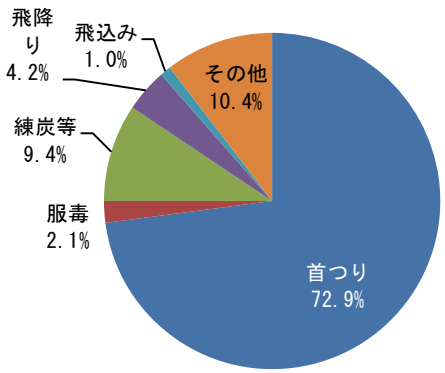
グラフ１４【場所別構成割合の比較（平成 29 年）】



６　手段別の状況（警察庁自殺統計）

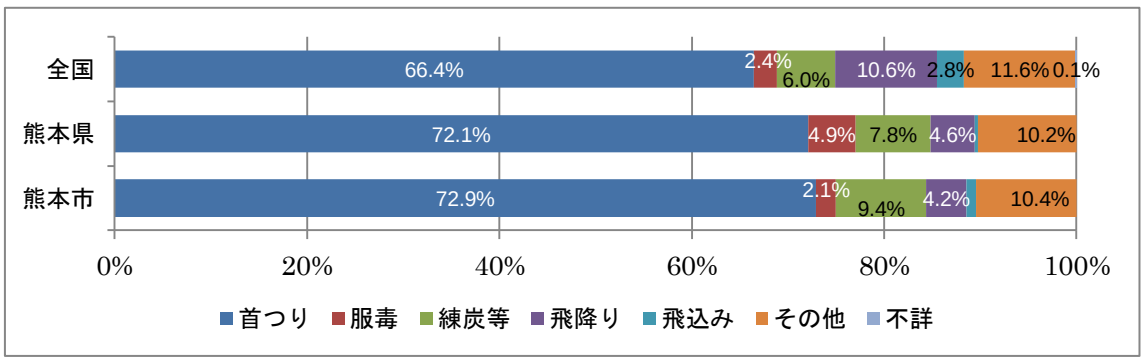
- 手段別では「首つり」が最も多く 70 人（72.9%）であった。
- 次いで、「その他」10 人（10.4%）、「練炭等」9 人（9.4%）となっている。
- 「飛降り」は 4 人（4.2%）で、前年より 18 人（81.8%）**減少**しており、近年では最も少ない人数であった。

グラフ１５【手段別自殺者数の割合（平成 29 年）】



		首つり	服毒	練炭等	飛降り	飛込み	その他	不詳	計
平成21年	自殺者数(人)	83	3	22	16	2	24	0	150
	構成割合(%)	55.3%	2.0%	14.7%	10.7%	1.3%	16.0%	0.0%	100.0%
平成22年	自殺者数(人)	97	7	15	16	5	17	0	157
	構成割合(%)	61.8%	4.5%	9.6%	10.2%	3.2%	10.8%	0.0%	100.0%
平成23年	自殺者数(人)	102	4	18	9	0	14	0	147
	構成割合(%)	69.4%	2.7%	12.2%	6.1%	0.0%	9.5%	0.0%	100.0%
平成24年	自殺者数(人)	102	4	11	9	2	10	0	138
	構成割合(%)	73.9%	2.9%	8.0%	6.5%	1.4%	7.2%	0.0%	100.0%
平成25年	自殺者数(人)	79	6	11	14	1	12	0	123
	構成割合(%)	64.2%	4.9%	8.9%	11.4%	0.8%	9.8%	0.0%	100.0%
平成26年	自殺者数(人)	77	2	16	11	4	8	0	118
	構成割合(%)	65.3%	1.7%	13.6%	9.3%	3.4%	6.8%	0.0%	100.0%
平成27年	自殺者数(人)	85	1	11	19	3	16	0	135
	構成割合(%)	63.0%	0.7%	8.1%	14.1%	2.2%	11.9%	0.0%	100.0%
平成28年	自殺者数(人)	72	2	8	22	1	14	0	119
	構成割合(%)	60.5%	1.7%	6.7%	18.5%	0.8%	11.8%	0.0%	100.0%
平成29年	自殺者数(人)	70	2	9	4	1	10	0	96
	構成割合(%)	72.9%	2.1%	9.4%	4.2%	1.0%	10.4%	0.0%	100.0%

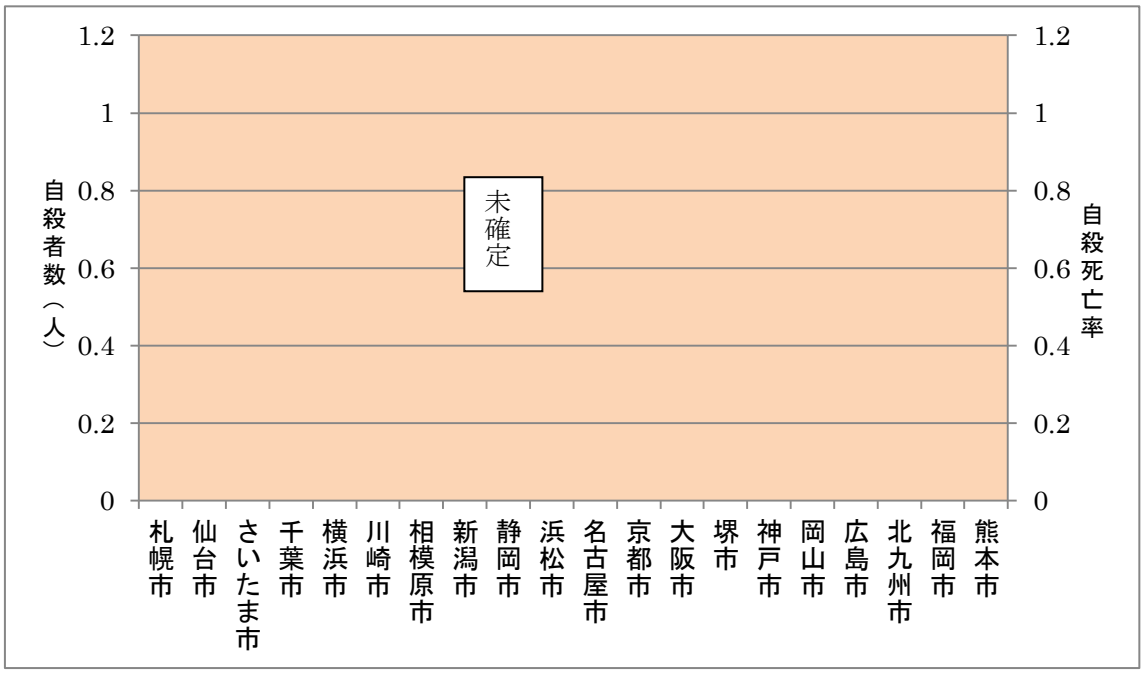
グラフ１６【手段別構成割合の比較（平成 29 年）】



６－１　政令指定都市別の自殺者数及び自殺死亡率（人口動態調査）

● 他の政令指定都市と本市の自殺死亡率を比較すると、本市は低い方から**番目であった。

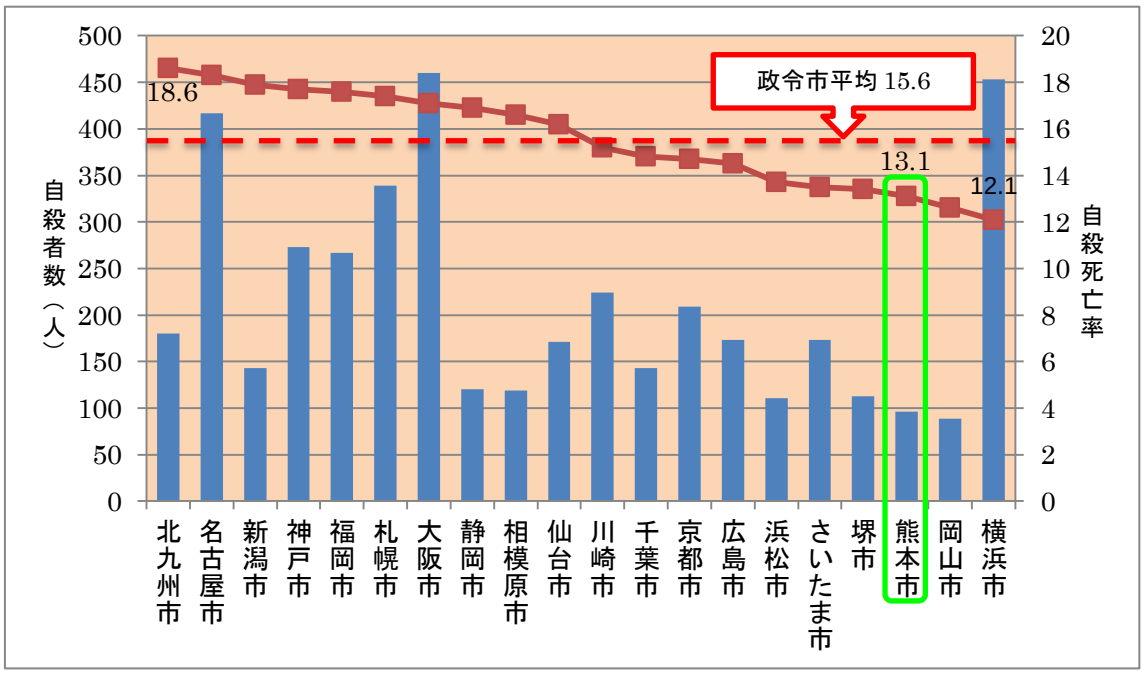
グラフ１７【政令指定都市別自殺者及び自殺死亡率の比較（平成 29 年）】



６－２　政令指定都市別の自殺者数及び自殺死亡率（警察庁自殺統計）

● 他の政令指定都市と本市の自殺死亡率を比較すると、本市は低い方から３番目であった。

グラフ１８【政令指定都市別自殺者及び自殺死亡率の比較（平成 29 年）】



７　震災関連自殺の状況

● 熊本地震による震災関連自殺者は、平成３０年３月までに６名となっている。現在も震災関連死の認定作業は続いているため、今後も自殺による震災関連死と認定される方が出てくる可能性がある。